

## 国土利用計画法による土地取引の届出制



町のすがた

(6月1日現在)

人口 男 3,318人 (+2)  
女 3,563人 (0)  
計 6,881人 (+2)  
世帯数 1,703 (+1)  
( )は5月1との比較

6

第255号

平成元年6月21日  
発行 新潟県三島郡三島町役場  
(0258) 42-2221  
印刷 長岡市あかつき印刷



三羽の群鳥のように未来に羽ばたく若者……

6月3日・4日、新庁舎の一般開放に1400人余りの町民のみなさんが訪れ、にぎわいました。正面玄関のロビーには、町の工芸家佐藤光男さん作のレリーフ「輪心」が飾られ町の新しいシンボルとして、庁舎を訪れる方々を迎えることになりました。

梅干は日本のシンボルのようなものですが、その材料の梅も最近は輸入物が多くなったそうですね。梅を拾って食べる子供などいなくなつたからでしょう。都会では梅干し自家製する家は少くなりましたが、梅酒作りはなかなかの人気です。梅の実と、水砂糖を焼酎に漬けた梅酒は、夏の暑気払いなどにぴったりの飲み物です。



ボク町長さんだ!!

## 今月の納税

\* 町民税・県民税  
\* 国民健康保険税  
\* 国民年金保険料  
\* 水道使用料  
\* ガス料金

第一期分  
六月期分  
六月分  
六月分

ユートピア観音像や新樹光	遠藤素木
若葉風耳こそばゆき日暮れかな	棚橋比呂志
陽炎の路真直ぐに続きけり	小林雪子
山吹の黄をさびしみて通りけり	結城老松
鯉幟女子ばかりを授かりぬ	原峰子
勾配の良きすべり台暮れ遅き	大滝薔風
鯉幟サイクリングの列長し	小林礼子
用水の怒濤となりて鯉のぼり	木戸恵津
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	安達南風
山巒のふくらみて来し若葉風	難波千代女
電車の窓新茶の香り誘えり	中村遊雲
小さきには小さき風や苺の花	小林清一
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	尾竹花翠
己が身は寛容にして朝寝せり	丸山義応
山巒にも家紋のありて桐の花	遠藤枯骨
鯉幟サクランボの列長し	名塚清一
用水の怒濤となりて鯉のぼり	中村遊雲
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	小林礼子
山巒のふくらみて来し若葉風	木戸恵津
電車の窓新茶の香り誘えり	安達南風
小さきには小さき風や苺の花	難波千代女
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	中村遊雲
己が身は寛容にして朝寝せり	小林清一
山巒にも家紋のありて桐の花	尾竹花翠
鯉幟サクランボの列長し	丸山義応
用水の怒濤となりて鯉のぼり	遠藤枯骨
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	名塚清一
山巒のふくらみて来し若葉風	中村遊雲
電車の窓新茶の香り誘えり	小林礼子
小さきには小さき風や苺の花	木戸恵津
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	安達南風
己が身は寛容にして朝寝せり	難波千代女
山巒にも家紋のありて桐の花	中村遊雲
鯉幟サクランボの列長し	小林清一
用水の怒濤となりて鯉のぼり	尾竹花翠
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	丸山義応
山巒のふくらみて来し若葉風	遠藤枯骨
電車の窓新茶の香り誘えり	名塚清一
小さきには小さき風や苺の花	中村遊雲
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	小林礼子
己が身は寛容にして朝寝せり	木戸恵津
山巒にも家紋のありて桐の花	安達南風
鯉幟サクランボの列長し	難波千代女
用水の怒濤となりて鯉のぼり	中村遊雲
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	小林清一
山巒のふくらみて来し若葉風	尾竹花翠
電車の窓新茶の香り誘えり	丸山義応
小さきには小さき風や苺の花	遠藤枯骨
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	名塚清一
己が身は寛容にして朝寝せり	中村遊雲
山巒にも家紋のありて桐の花	小林礼子
鯉幟サクランボの列長し	木戸恵津
用水の怒濤となりて鯉のぼり	安達南風
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	難波千代女
山巒のふくらみて来し若葉風	中村遊雲
電車の窓新茶の香り誘えり	小林清一
小さきには小さき風や苺の花	尾竹花翠
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	丸山義応
己が身は寛容にして朝寝せり	遠藤枯骨
山巒にも家紋のありて桐の花	名塚清一
鯉幟サクランボの列長し	中村遊雲
用水の怒濤となりて鯉のぼり	小林礼子
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	木戸恵津
山巒のふくらみて来し若葉風	安達南風
電車の窓新茶の香り誘えり	難波千代女
小さきには小さき風や苺の花	中村遊雲
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	小林礼子
己が身は寛容にして朝寝せり	木戸恵津
山巒にも家紋のありて桐の花	安達南風
鯉幟サクランボの列長し	難波千代女
用水の怒濤となりて鯉のぼり	中村遊雲
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	小林礼子
山巒のふくらみて来し若葉風	木戸恵津
電車の窓新茶の香り誘えり	安達南風
小さきには小さき風や苺の花	難波千代女
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	中村遊雲
己が身は寛容にして朝寝せり	小林礼子
山巒にも家紋のありて桐の花	木戸恵津
鯉幟サクランボの列長し	安達南風
用水の怒濤となりて鯉のぼり	難波千代女
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	中村遊雲
山巒のふくらみて来し若葉風	小林礼子
電車の窓新茶の香り誘えり	木戸恵津
小さきには小さき風や苺の花	安達南風
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	難波千代女
己が身は寛容にして朝寝せり	中村遊雲
山巒にも家紋のありて桐の花	小林礼子
鯉幟サクランボの列長し	木戸恵津
用水の怒濤となりて鯉のぼり	安達南風
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	難波千代女
山巒のふくらみて来し若葉風	中村遊雲
電車の窓新茶の香り誘えり	小林礼子
小さきには小さき風や苺の花	木戸恵津
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	安達南風
己が身は寛容にして朝寝せり	難波千代女
山巒にも家紋のありて桐の花	中村遊雲
鯉幟サクランボの列長し	小林礼子
用水の怒濤となりて鯉のぼり	木戸恵津
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	安達南風
山巒のふくらみて来し若葉風	難波千代女
電車の窓新茶の香り誘えり	中村遊雲
小さきには小さき風や苺の花	小林礼子
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	木戸恵津
己が身は寛容にして朝寝せり	安達南風
山巒にも家紋のありて桐の花	難波千代女
鯉幟サクランボの列長し	中村遊雲
用水の怒濤となりて鯉のぼり	小林礼子
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	木戸恵津
山巒のふくらみて来し若葉風	安達南風
電車の窓新茶の香り誘えり	難波千代女
小さきには小さき風や苺の花	中村遊雲
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	小林礼子
己が身は寛容にして朝寝せり	木戸恵津
山巒にも家紋のありて桐の花	安達南風
鯉幟サクランボの列長し	難波千代女
用水の怒濤となりて鯉のぼり	中村遊雲
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	小林礼子
山巒のふくらみて来し若葉風	木戸恵津
電車の窓新茶の香り誘えり	安達南風
小さきには小さき風や苺の花	難波千代女
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	中村遊雲
己が身は寛容にして朝寝せり	小林礼子
山巒にも家紋のありて桐の花	木戸恵津
鯉幟サクランボの列長し	安達南風
用水の怒濤となりて鯉のぼり	難波千代女
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	中村遊雲
山巒のふくらみて来し若葉風	小林礼子
電車の窓新茶の香り誘えり	木戸恵津
小さきには小さき風や苺の花	安達南風
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	難波千代女
己が身は寛容にして朝寝せり	中村遊雲
山巒にも家紋のありて桐の花	小林礼子
鯉幟サクランボの列長し	木戸恵津
用水の怒濤となりて鯉のぼり	安達南風
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	難波千代女
山巒のふくらみて来し若葉風	中村遊雲
電車の窓新茶の香り誘えり	小林礼子
小さきには小さき風や苺の花	木戸恵津
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	安達南風
己が身は寛容にして朝寝せり	難波千代女
山巒にも家紋のありて桐の花	中村遊雲
鯉幟サクランボの列長し	小林礼子
用水の怒濤となりて鯉のぼり	木戸恵津
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	安達南風
山巒のふくらみて来し若葉風	難波千代女
電車の窓新茶の香り誘えり	中村遊雲
小さきには小さき風や苺の花	小林礼子
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	木戸恵津
己が身は寛容にして朝寝せり	安達南風
山巒にも家紋のありて桐の花	難波千代女
鯉幟サクランボの列長し	中村遊雲
用水の怒濤となりて鯉のぼり	小林礼子
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	木戸恵津
山巒のふくらみて来し若葉風	安達南風
電車の窓新茶の香り誘えり	難波千代女
小さきには小さき風や苺の花	中村遊雲
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	小林礼子
己が身は寛容にして朝寝せり	木戸恵津
山巒にも家紋のありて桐の花	安達南風
鯉幟サクランボの列長し	難波千代女
用水の怒濤となりて鯉のぼり	中村遊雲
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	小林礼子
山巒のふくらみて来し若葉風	木戸恵津
電車の窓新茶の香り誘えり	安達南風
小さきには小さき風や苺の花	難波千代女
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	中村遊雲
己が身は寛容にして朝寝せり	小林礼子
山巒にも家紋のありて桐の花	木戸恵津
鯉幟サクランボの列長し	安達南風
用水の怒濤となりて鯉のぼり	難波千代女
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	中村遊雲
山巒のふくらみて来し若葉風	小林礼子
電車の窓新茶の香り誘えり	木戸恵津
小さきには小さき風や苺の花	安達南風
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	難波千代女
己が身は寛容にして朝寝せり	中村遊雲
山巒にも家紋のありて桐の花	小林礼子
鯉幟サクランボの列長し	木戸恵津
用水の怒濤となりて鯉のぼり	安達南風
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	難波千代女
山巒のふくらみて来し若葉風	中村遊雲
電車の窓新茶の香り誘えり	小林礼子
小さきには小さき風や苺の花	木戸恵津
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	安達南風
己が身は寛容にして朝寝せり	難波千代女
山巒にも家紋のありて桐の花	中村遊雲
鯉幟サクランボの列長し	小林礼子
用水の怒濤となりて鯉のぼり	木戸恵津
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	安達南風
山巒のふくらみて来し若葉風	難波千代女
電車の窓新茶の香り誘えり	中村遊雲
小さきには小さき風や苺の花	小林礼子
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	木戸恵津
己が身は寛容にして朝寝せり	安達南風
山巒にも家紋のありて桐の花	難波千代女
鯉幟サクランボの列長し	中村遊雲
用水の怒濤となりて鯉のぼり	小林礼子
緑陰に椅子一つ置き誰も居ず	木戸恵津
山巒のふくらみて来し若葉風	安達南風
電車の窓新茶の香り誘えり	難波千代女
小さきには小さき風や苺の花	中村遊雲
陽炎の浮力に乗つてしまひたし	小林礼子
己が身は寛容にして朝寝せり	木戸恵津
山巒にも家紋のありて桐の花	安達南風
鯉幟サクランボの列長し	難波千代女
用水の怒濤となりて鯉のぼり	中村遊雲
緑陰に椅子一つ置き誰も	

祝辭  
三島町議会議長 小林太左衛門

本日ここに役場庁舎・保健センターの竣工式にあたり、公私ともにご多用のか、國・県をはじめ各界各層多数のご臨席のもとに三島町議会を代表し、ご祝辞を述べます。

本日ここに役場庁舎・保健センターの竣工式にあたり、公私ともにご多用のか、國・県をはじめ各界各層多数のご臨席のもとに三島町議会を代表し、ご祝辞を述べます。

本日ここに役場庁舎・保健センターの竣工式にあたり、公私ともにご多用のか、國・県をはじめ各界各層多数のご臨席のもとに三島町議会を代表し、ご祝辞を述べます。

本日ここに役場庁舎・保健センターの竣工式にあたり、公私ともにご多用のか、國・県をはじめ各界各層多数のご臨席のもとに三島町議会を代表し、ご祝辞を述べます。



## 県知事を 役場庁舎・保 記念式典



160余名の大祝賀会

を申しあげ  
る機会を得  
ましたこと  
は、私の最  
も光栄と致  
すところで  
あります。

次第であります。

しかし、時代の推移と共に  
老朽化し、手狭となった  
役場庁舎を「百年の大計」の  
もとに、「三島町のシンボル」として町にふさわしい庁舎  
を」と、いう考え方から建設の  
機運が高まり、幾度も審議  
を重ね、諸般の過程を経て  
建設の決定を見ましたことは、誠に感慨ひとしおのもの  
があり、関係各位のご労苦  
に改めて感謝をいたします。

さらに、国・県はもとより地権者の各位、工事に何  
等の事故もなく、この様に  
存であります。

終わりに、三島町の限り無  
き発展と本日ご臨席の皆様  
の方の益々のご健勝をご祈念  
申し上げ祝辞をいたします。

立派な庁舎・保健センター  
の完成に努力された設計事  
務所、工事関係業者の方々  
に心から敬意と感謝を申し  
上げる次第であります。私  
たち議会も本日を契機に  
「明るく住みたくなる」町  
づくりを心にきざみ、さら  
に三島町発展のために一層  
の精進努力を重ね町民の負  
託に応え、職責を果たす所  
存であります。

新規に、三島町の限り無  
き発展と本日ご臨席の皆様  
の方の益々のご健勝をご祈念  
申し上げ祝辞をいたします。



四斗樽で鏡わり

## 式辞

三島町長  
河内忠彦

本日、新潟県知事殿を始めご来賓の皆様多数のご臨席を賜わり、三島町役場庁舎・保健センター竣工式を行できますことは、三島町に

造りのすばらしい庁舎を建築され、昭和の時代を幾多の試練と事績を積み重ね、町政繁栄の礎を築いてきた由緒ある建物であります。然しながら、町村合併後



## 卫えて 建センター竣工 盛大に行われる

### 町役場庁舎・保健センター竣工式



知事と堅い握手……



終りに本日の記念すべき式典に当りご多用の中ご臨席賜りましたご来賓の皆様に対し心からお礼申し上げます。

ありますので、全面改築をいたした次第であります。さて、新庁舎建設の基本方針につきましては、議会のものと、本工事に着手し、び県ご当局の格別なご支援を受けています。本日無事新築落成の運びとなりました次第であります。

ここに先輩各位のご労苦並びに地元地権者及び町民各位のご協力に対しまして、心から厚くお礼申し上げます。

また、本体外構工事を施工されました、清水建設、吉原組、山長組の共同企業体、機械設備工事の株式会社ナ

ンパさうに、電気設備工事の久保誠電気興業株式会社、北陸電々株式会社の各位から工期の短かい中誠意をもって施工され、無事故で、

しかも予期以上の成果をあげていただきましたことに對しまして、心から敬意を表する次第であります。

なままた、庁舎・保健センターの設計につきましては、公共建造物の設計に豊富な経験と最新の知識を有しておられる細貝建築設計事務所から当っていただき、明るい町政をモットーに近代様式を加味して事務能率の向上と維持管理面に特別の苦心と考慮が払われ、設計されたものであります。

また、本体外構工事を施工されました、清水建設、吉

昭和から平成元年という、新しい時代を迎えた今、町職員共々に心を新らたにして行政水準の向上を図り豊かな町づくりへ、尚一層の努力を注いでゆく決意を新たにしているところであります。

新庁舎が完成し、年号も未永く活用すると共に、お陰様をもちまして、名実ともに品位とうるおいのある行政庁舎として、整備されましたこと衷心より厚くお礼申し上げます。

記念品の品々は宝物とし、念品のご寄贈を賜りました。



